



も関連する子ども支援はどうなるのか。

副町長 保育所で障がい者を受け入れているほか、遠別町、天塩町と3町で共同設置している留萌北部地域子ども発達支援センター事業、障がい児の相談支援事業などを実施している。

質問 近隣町村で行われているせわすき・せわやき隊(すきやき隊)を、本町でも作るべきだ。

副町長 全道95の市町村で、いわゆるすきやき隊が結成されている。ボランティア団体により、活発に事業展開がされる。ことが理想であるが、まず子育て事業の充実を優先するべきと考える。

質問 将来のことを考えると、近隣町村との連携や対策はどう考えているか。

副町長 認定子ども園を中心にして、子育て支援を展開しているかと考えている。近隣町村

との連携よりも、まず本町における子育て支援に対する取り組みを充実させたい。

質問 消費税を少子化対策に7千億円入れると国は述べているが、今の段階ではどうなるか分からない。幌延の施設が60人から85人に増えたら(定員数)、待機児童などはカバーすることが出来るのか。

町民課長 平成27年度から認定子ども園85人体制で、待機児童を作らずやれる。



齋賀 弘 孝

町政の進捗状況について

質問 地域おこし協力隊はどのように作業が進められているのか。

町長 プロジェクトメンバーは7人で、7月1日辞令交付した。8月22日推進会議をし、26日には企画振興グループ主幹が市町村担当課長会議に出席し、情報収集を行った。今後は、活動分野、募集人数、雇用方法、定住に向けた課題などの検討を行う。

質問 町長が一番最初に問題にしていた、事業終了後の就職先と将来の保障はどうなったのか。

町長 そういうことも全部、委員会に検討してもらおう。

質問 町長の心配が改善されなかったら、協力隊はストップか。次期町長に委ねるのか。

町長 当然。私には権限ない。12月13日以降に対しては。

質問 町立診療所長の後任は。

町長 平成28年3月まで勤務延長することで承諾いただいている。4月以降の勤務は27年度中に協議することで了解いただいているので、新たに就任される町長に委ねる。

質問 公約で情報通信基盤活用による公聴広報の充実を図るとしたが、その到達は。

町長 大体目標達成している。難視聴の解消、防災や行政情報も全戸に流せる。

質問 動画は、今出来る設備の範囲でやっていきたいというのが、町長の考えか。

町長 前からそのように言ってきたつもり。今回の定例議会が最後の議会で、12月議会は新しい町長が27年度予算に取り組むのだから、新しい町長に委ねる。

質問 24年3月議会で、告知端末を使つての動画配信の必要性を訴え、調査研究したいと答弁したが、どうなったか。

町長 6月議会で次期出馬しないと云つたので、いくら私が言つても、前町長の方針を全て引き継ぐことはないので、次期町長に委ねる。

質問 学習センターの図書はどこから購入されているのか。



教育長 町内の取り扱い業者2社。

質問 学校図書館に子供が新聞を読む為の予算がついているが、本町はどうか。

教育長 学校の新聞購入に係る予算は、それぞれ総務予算で予算化し、その利用方法は学校の裁量に任せている。

質問 全国学力テストにみる傾向として、新聞を読む頻度が高いほど学力テストの正答率が上昇するという全国的傾向をどう考えるか。

町長 多くの学びを通して学力が高まり、新聞も読み、読書もする中で、地域や社会に対する興味、関心が高くなるものと考えている。